

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

中川地区は歴史のある地域と新興住宅地が融合しています。担当しているケアプラザとして各種団体の会合や催事に積極的に参加し、地域のニーズや把握を行い、情報提供や各種団体の活動の支援を行っていきます。区役所や区社会福祉協議会と連携し、地域の課題を各種団体と一緒に考えていきます。

今年度の重点的な取組

新規
継続

— 具体的な取組内容 —

<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	職員それぞれのキャリアアップが構築できるよう、その能力に応じてステップアップを後押しします。また日々の仕事の中で議論し意欲、スキルの向上を図ります。ケアプラザは情報量が重要なことから市、区の動向や地域の動向、他のケアプラザの取り組み事例などをミーティングで共有し情報量を磨きます。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	高齢者向けの健康体操や太極拳教室、子育て世代の親子が気軽に参加し楽しめるイベントを開催します。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	在宅医療、介護の連携について利用者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう多くの医療、介護、看護の事業者と連携し、支援してまいります。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域の情報から課題を把握・分析し包括支援センター、地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターで職種間連携を図り関わる地域への支援内容を検討してまいります。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

開所して2か月半が経過しました。地域での催し物には積極的に参加させていただくことで、ケアプラザの役割を知っていただけるようになったと感じています。また、ケアプラザ新聞を発行し職員紹介をしたことで地域住民の方々に認識をいただけるようになりました。2月から包括、地域活動交流、生活支援とそれぞれ自主事業を開催します。地域における福祉・保健活動の拠点としてさまざまな情報発信を行ってまいります。

区からのコメント

(地域活動交流)
 ・貸館の稼働率が少しずつ上がってきています。団体登録も少しずつ増えているとのことですので、引き続き着実な利用者増に取り組んでください。
 ・ベテランと新人が混在している中、事業を共催で開催するなど、風通しのよい環境を作ろうという工夫が見られます。

(地域包括支援センター)
 ・新設の地域包括支援センターとして、周知のためのチラシの作成や、地域の様々な行事に積極的に出向くことを通じて、包括支援センターのPRや地域特性の把握、今後の事業の検討等に尽力されました。協力医とケアマネジャーの意見交換会等、地域の関係機関のネットワークづくりにも着手しています。
 ・来年度は、検討された各自主事業を本格的に地域で実施していくことになると思います。引き続き地域への積極的なアプローチを期待します。

(生活支援体制整備事業)
 ・山坂の多さ等のエリアの特性や高齢化等の状況を踏まえ、今後の問題に対応していこうとする姿勢が伺えました。住民のニーズに寄り添い、具体的な取組になっていくことを期待します。
 ・新たな社会資源の創出にあたっては、地域の課題やニーズ、既存資源の活用方法の検討など、細かな地域分析が重要になってきます。地域との関係づくりを進めていく中で得られる様々な気づきが、必要な支援に繋がっていくことを期待しています。